

自治大卒業生の声

自治大学校卒業生（監査・内部統制専門課程第 26 期）

青森県 監査委員事務局 寺嶋 篤史

編集者注：本稿は、自治大学校における研修の特長などについて、自治大学校の卒業生が記したものです。

1 はじめに

私の所属する青森県監査委員事務局は、職員数 18 名であり、県の監査委員事務局の規模としては、概ね平均的な規模となっています。

このたび、令和 8 年 1 月 15 日に入寮し、2 月 26 日の卒業まで、43 日間の研修に参加させていただきました。本県においては、10 年以上この研修に参加していなかったのも、この研修に参加できたことは、何事にも代えがたい貴重な経験となりました。快く送り出してくれた上司や職場、家族の理解に、心から感謝しています。

2 入校を迎えるまで

入校決定通知から入寮日までの 44 日間は「民法」「地方自治制度」「地方公務員制度」といった法制課程の e-ラーニング(約 50 時間)のほか、事前に示されているカリキュラムで全体の約 4 分の 1 を占めている公営企業の分析に必要な簿記の知識や地方公営企業法等関係法令の再確認に努めました。

日常業務と並行しながらこれを進めるのは、大変な部分もありましたが、研修は事前準備が大切との思いもあり、準備を整え入寮することができました。

3 監査・内部統制専門課程の概要

(1) 講義について

各自治体の監査委員事務局職員を対象とする監査・内部統制専門課程の研修内容、講

師陣については、自治体独自で行なうには困難で高度な研修内容となっていて、一流の講師陣が揃えられ、最新の知識・情報を身に着けることができるようになっていきます。講義の内容としては、地方分権と監査制度等の「総合教養科目」、簿記や会計学の基礎等の「基礎科目」、監査論や内部統制等の「監査の実務」、財政健全化指標の活用等の「財務指標の分析」、公営企業会計等の「公営企業の分析」など、監査に必要な大変幅広い分野となっています。今まで、監査で担当したことが無い分野であっても、受講しているうちに、理解が深まるようになっていと思っています。

(2) 演習について

演習については、事例演習(グループ発表)と効果測定演習(卒業認定に係る個人レポート)の 2 種類がありました。事例演習では、特定の課題に対して、各自治体の状況を持ち寄り、課題やその解決策をグループ討議によりまとめ、グループ毎に報告書を作成し、発表するという流れで、進みました。事例によっては、他の自治体でも同じような悩みを抱えている場合もあり、それぞれが対応していることが分かりました。また、正解のない事例もありましたが、自分なりに問題点を整理しグループ討議や発表に臨んでいました。

効果測定演習では、講義で学んだ監査や公営企業会計などの内容を網羅的に理解したうえで、個別の案件についても様々な視点からの検討を行なう必要があったことから、時間外や休日に図書館で資料や参考図書の読込を行ないました。また、談話室で研

修生有志による勉強会を開き、課題に対する理解を互いに深め合いました。最終的には、作成したレポートを講師や研修生全員の前で発表し、講師からの質疑に答えることとなりました。このレポートは、卒業認定レポートとなっており、内容等により監査に必要な知識、技能を有すると認められれば「自治体監査実務指導者」に認定される非常に重要なものです。難易度も高いものでしたが、やり遂げた際の喜びはひとしおでした。

4 研修を振り返って

講義においては、どの分野においても、自治体における内部統制状況の確認や内部統制に依拠したリスクアプローチ監査の考え方の説明があり、今後、人的資源等が限られていく中、どのように監査を進めていくのかを考えて行かなければならないと感じました。

地方公営企業会計関係の講義においては、事案の1つ1つについて、地方公営企業法等関係法令の趣旨や解釈を整理し、どこに問題があり本来はどのように処理すべきであったのかを具体的な事案により説明があり、地方公営企業会計特有の監査の視点に留意しながら、どのように監査を進めていくのかを考えることとなりました。

また、今後、どの自治体においても、地方公営企業、特に下水道等の老朽化による設備更新が発生することから、決算審査において、中長期的な経営に対する見通しを確認する必要があると感じました。

5 研修期間中の生活について

この研修の魅力として、全国から集まる監査委員事務局の職員との交流できることです。第26期は全国各地から12名と少人数ながら、自治体の規模や職位は様々で、年齢層も30代後半から50代後半までと幅広

い参加となりました。一方で、立場や経験が異なっているにもかかわらず、郷土を愛する心は同じであり、銘酒や銘菓を味わいながら、観光地、祭り等を語り合うこととなりました。

講義後は談話室に集まり、各自治体で抱えている課題や監査の進め方について、時には、時間を忘れて情報交換を行っていました。

6 おわりに

今回の研修では、監査業務について多くの内容を学ぶことができました。また、他自治体の職員と業務以外の様々な内容を意見交換できたことにより、自分の視野を広げることができました。

最後に、研修運営をしていただいた教務部をはじめ、自治大学校関係者の皆様と多くの講師の方々に感謝申し上げます。

ありがとうございました。